

熊本県院内がん登録データに係る統計 —2019年診断症例—

医療機関名	国保水俣市立総合医療センター
-------	----------------

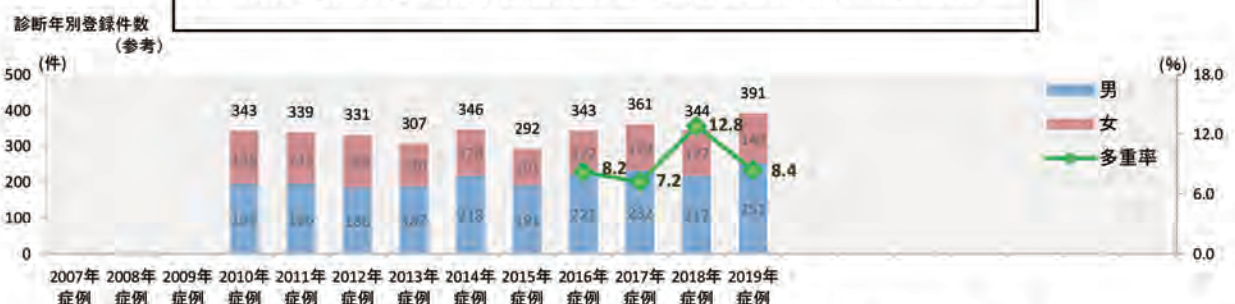
○基本情報

【令和元年12月現在】

所在地	水俣市天神町1丁目2番1号
病床数	361床
診療科数	18科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2010.01.01
平均在院日数	20.9 (日)
入院患者数	4,862 (人)
外来患者延数	190,954 (人)
院内がん登録件数	391 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 1 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

〈登録件数〉 全体で391件(前年344件)と増加した(2019年より外来診断の症例を含めた影響も考えられた)。
 〈患者住所医療圏〉 主な医療圏は担当である芦北(水俣・津奈木・芦北)の244件(62.4%)である一方、鹿児島県から来院する患者が142件(36.8%)あり、県外からの来院の割合が前年の30%よりも増加していた。
 〈平均年齢 男女比〉 登録症例の全体の平均年齢は72.1歳であり、前年よりもわずかに減少したが、70歳以上の割合は62.6%を占めていた。男女比は男性251件(64.2%)、女性140件(35.8%)と例年通り男性の割合が高かった。
 〈部位別登録件数〉 5大癌は肺癌71件(18.2%)、大腸癌55件(14.1%)、乳癌35件(9.0%)、胃癌31件(7.9%)、肝癌17件(4.3%)であり、肺癌は前年よりも28件と大きく増加した。ここ数年胃癌は減少傾向である一方、肺癌や皮膚癌といった5大癌以外の癌腫に増加傾向を認めている。
 〈Stageと治療内容〉 全体のStage別の割合は0期は12.3%、Ⅰ期は40.2%、Ⅱ-Ⅲ期は24.2%、Ⅳ期は18.4%であった。当院で施行した初回治療の割合は、手術+内視鏡による治療が174件(52.4%)であり主に胃癌、大腸癌、皮膚癌、乳癌、膀胱癌が占めていた。化学療法および内分泌療法は134件(40.4%)であり、主に肺癌、前立腺癌、肝癌、乳癌が占めていた。
 〈特徴〉 当院は県南端のがん診療連携拠点病院であり、県境の病院である。鹿児島県出水市、伊佐市と接しているため、熊本県内だけではなく鹿児島県から来院されていることが大きな特色である。
 また当院をかかりつけとする患者も多く、癌の発見契機の数近く(48%)が他疾患経過観察中であった。併存疾患を有する高齢のがん患者も多く、総合病院の強みを活かし、幅広い専門診療科によるがん診療と、他職種連携によるチーム医療で安全で確実ながん診療を行い、在宅復帰に向けての地域支援センター・地域包括ケアシステムを用いて、安心して退院できるようにサポートしている。
 さらに「くまもとメディカルネットワーク」にも積極的に参加し、熊本大学病院との連携をすすめることで情報を交換し、地域でも最新の質の高いがん医療が提供できるように努めている。

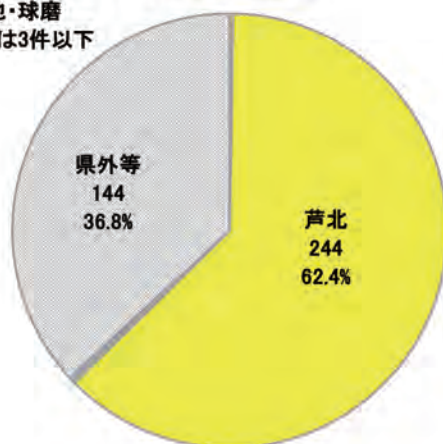


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

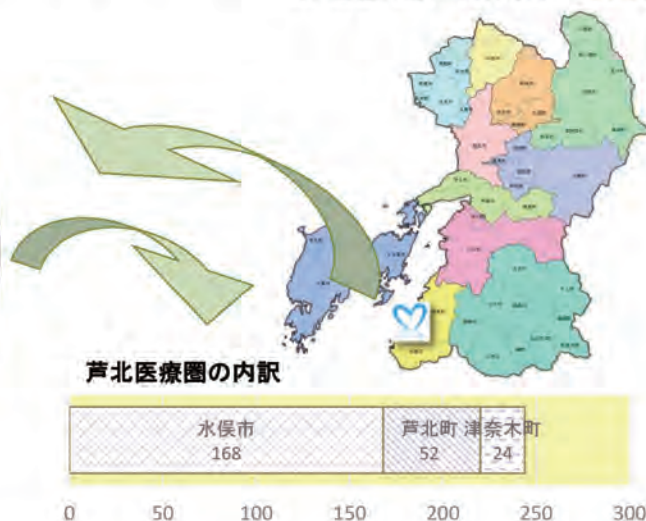
① 患者住所医療圏別登録の状況(2019年診断症例)

水俣市立総合医療センター (391件)

※菊池・球磨
・天草は3件以下



※ 全般において3件以下は*又は非表示



◇ 医療圏別上位5部位

熊本市		鹿本		上益城		球磨	複数部位	*
宇城		菊池	複数部位	*	八代		複数部位	*
有明		阿蘇		芦北	大腸	44	肺	39
					肺	32	前立腺	19
					前立腺	29	皮膚	14
					皮膚	22	乳房	14
					複数部位	各20	複数部位	各11
					県外等			

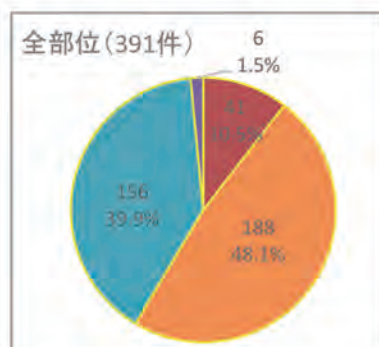
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

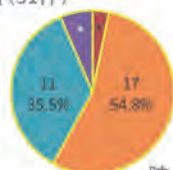


③ 発見経緯 5大部位の内訳

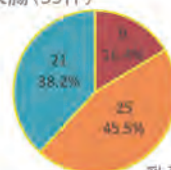
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



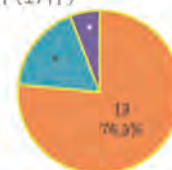
胃(31件)



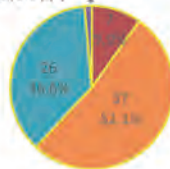
大腸(55件)



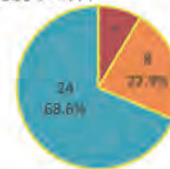
肝(17件)



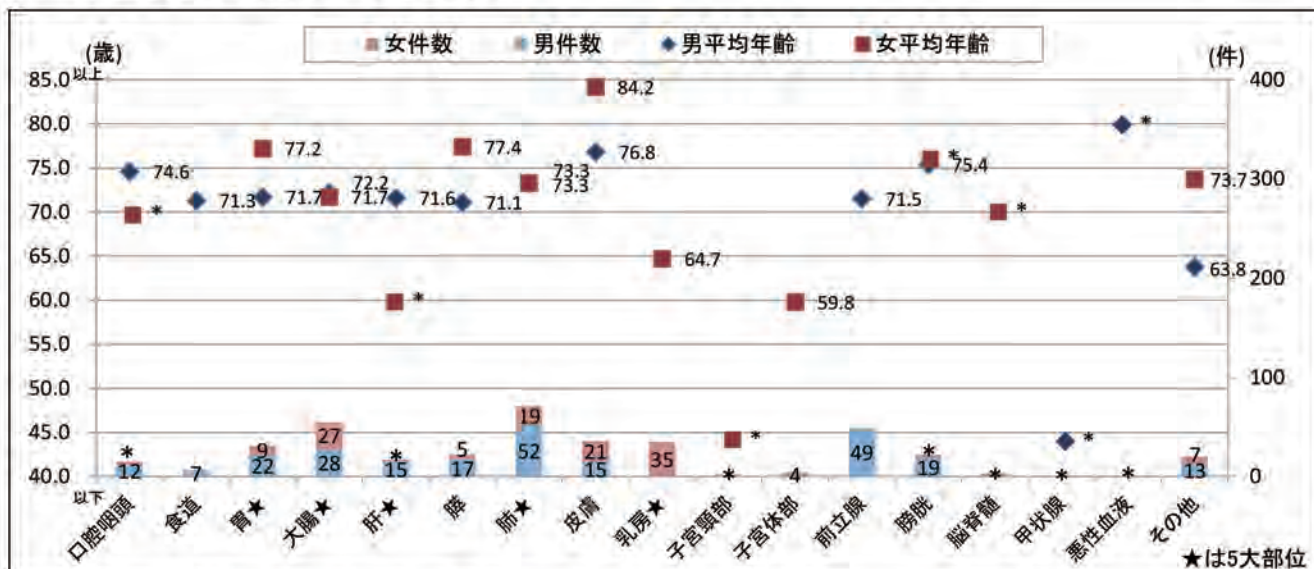
肺(71件)



乳房(35件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

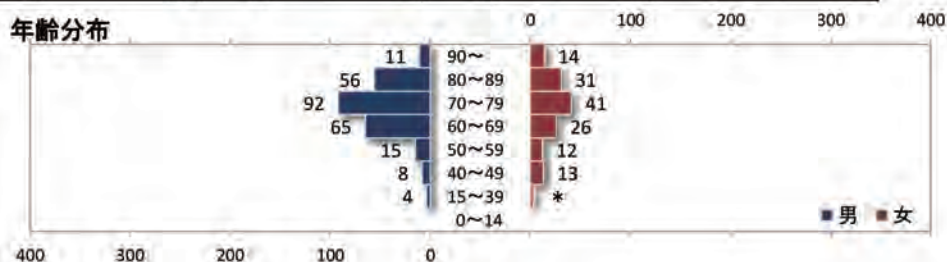


男性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳
肺	52	複数部位	複数部位	複数部位
前立腺	49			
大腸	28			
胃	22			
膀胱	19			
膵	17			
肝	15	計	計	計
皮膚	15	4	8	15
その他	13			
口腔咽頭	12	60～69歳	70～79歳	80～89歳
食道	7	前立腺	15	前立腺
甲状腺	*	肺	14	肺
悪性血液	*	大腸	7	皮膚
乳房		胃	7	18
子宮頸部		肝	7	大腸
子宮体部		大腸	6	12
脳脊髄		など	膀胱	9
計	251	計	92	計
		65	4	56



女性全体	0～14歳	15～39歳	40～49歳	50～59歳
乳房	35	複数部位	乳房	大腸
大腸	27		複数部位	複数部位
皮膚	21			
肺	19			
胃	9			
その他	7			
膵	5	計	計	計
子宮体部	4	*	13	12
口腔咽頭	*	60～69歳	70～79歳	80～89歳
膀胱	*	乳房	8	乳房
脳脊髄	*	大腸	7	6
肝	*	肺	9	皮膚
子宮頸部	*	皮膚	6	複数部位
食道		乳房	6	9
前立腺		複数部位	*	*
甲状腺		計	41	計
悪性血液		26	31	14
計	140			

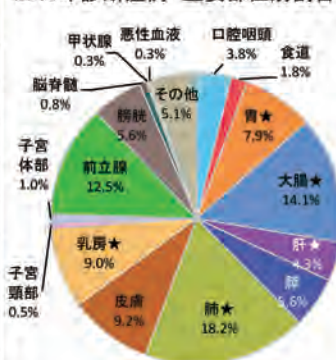
年齢分布



⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)	2018年症例 (R01年度収集)	2019年症例 (R02年度収集)
口腔咽頭	7	*	8	7	15
食道	4	6	12	5	7
胃★	37	39	42	29	31
大腸★	54	74	47	43	55
肝★	9	19	12	14	17
膵	16	10	14	15	22
肺★	31	47	44	43	71
皮膚	8	20	27	41	36
乳房★	25	18	32	22	35
子宮頸部	4	7	6	6	*
子宮体部	(頸部・体部)	(頸部・体部)	(頸部・体部)	(頸部・体部)	4
前立腺	47	42	52	40	49
膀胱	23	23	25	26	22
脳脊髄			6	*	*
甲状腺					*
悪性血液疾患		*	5	8	*
その他	27	34	29	42	20
計	292	343	361	344	391

2019年診断症例 主要部位別割合



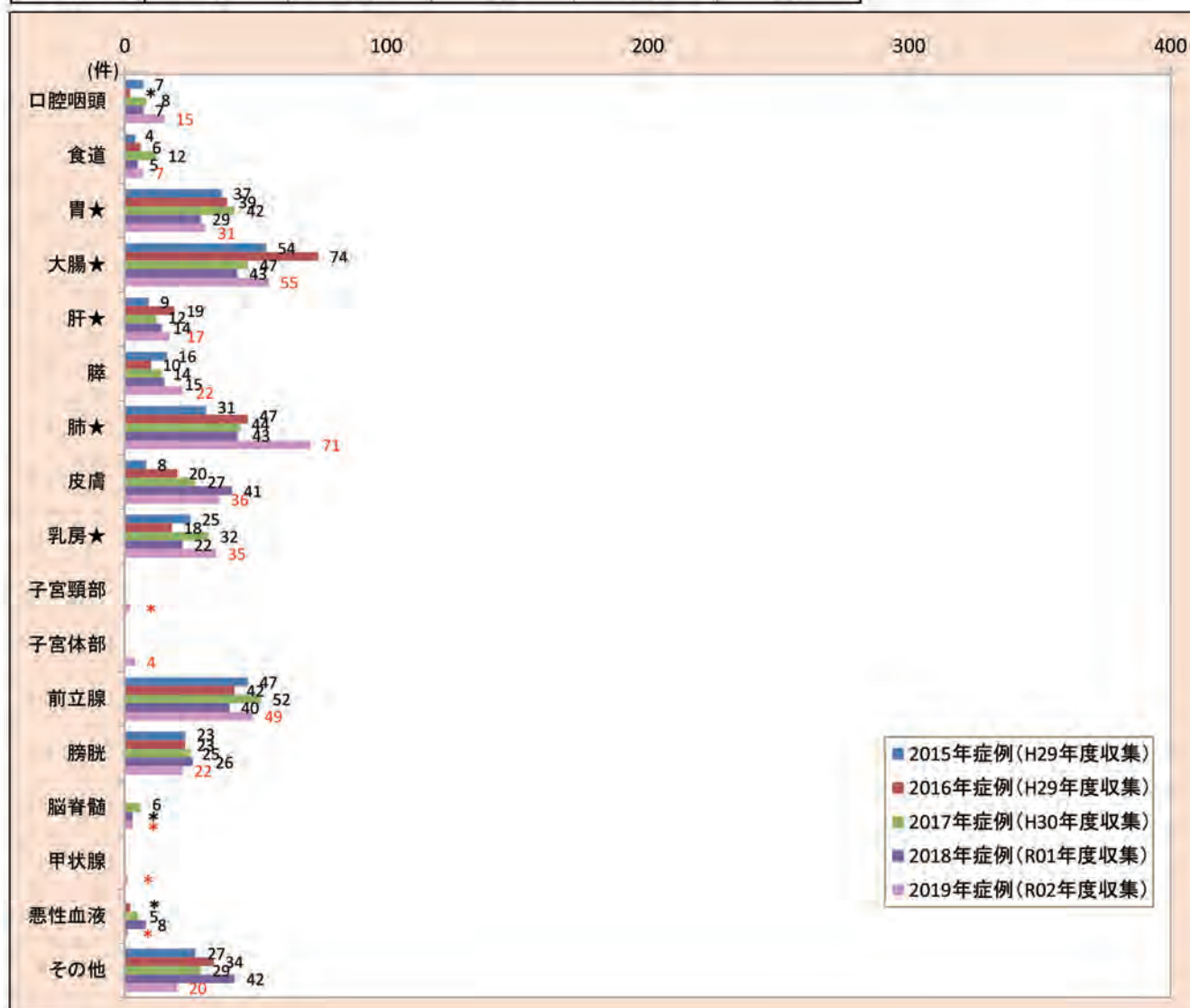
※大腸は結腸と直腸

※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍

※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）

※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離

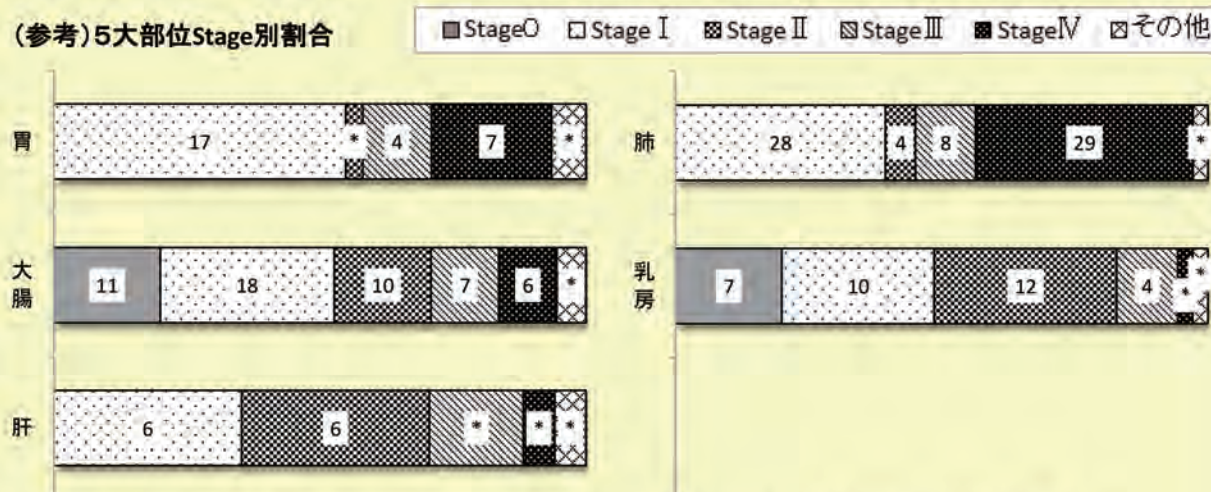
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



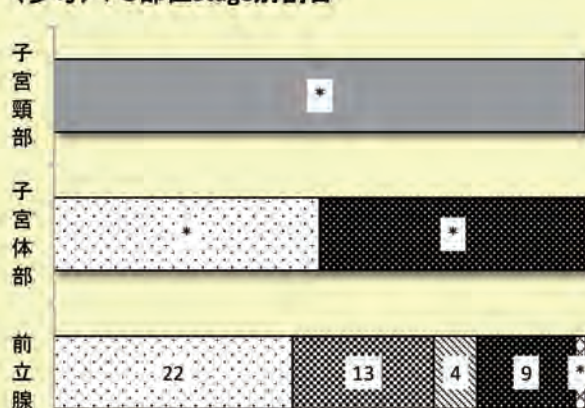
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage0	Stage I	Stage II	Stage III	StageIV	その他
口腔咽頭	15	6	5	*	*	*	
食道	7	*	*	*		*	*
胃★	31		17	*	4	7	*
大腸★	55	11	18	10	7	6	*
肝★	17		6	6	*	*	*
膵	22		8	*	*	9	
肺★	71		28	4	8	29	*
皮膚	36	6	29	*			
乳房★	35	7	10	12	4	*	*
子宮頸部	*	*					
子宮体部	4		*			*	
前立腺	49		22	13	4	9	*
膀胱	22	14	*	*	*		*
脳脊髄	*						*
甲状腺	*		*				
悪性血液疾患	*						*
その他	20	*	7	*	*	6	*
計	391	48	157	57	38	72	19

(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合

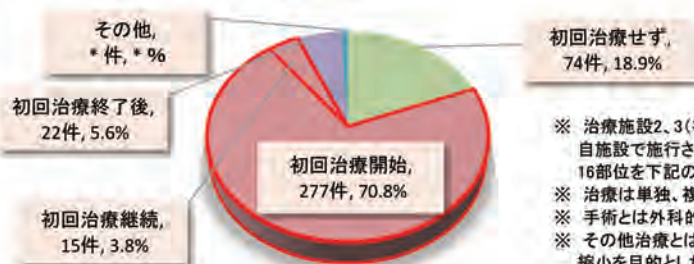
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

Ⅱ 施設別統計

水俣市立総合医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

治療施設	件数
1初回治療せず	74
2初回治療開始	277
3初回治療継続	15
4初回治療終了後	22
8その他	*
計	391



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計

※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算

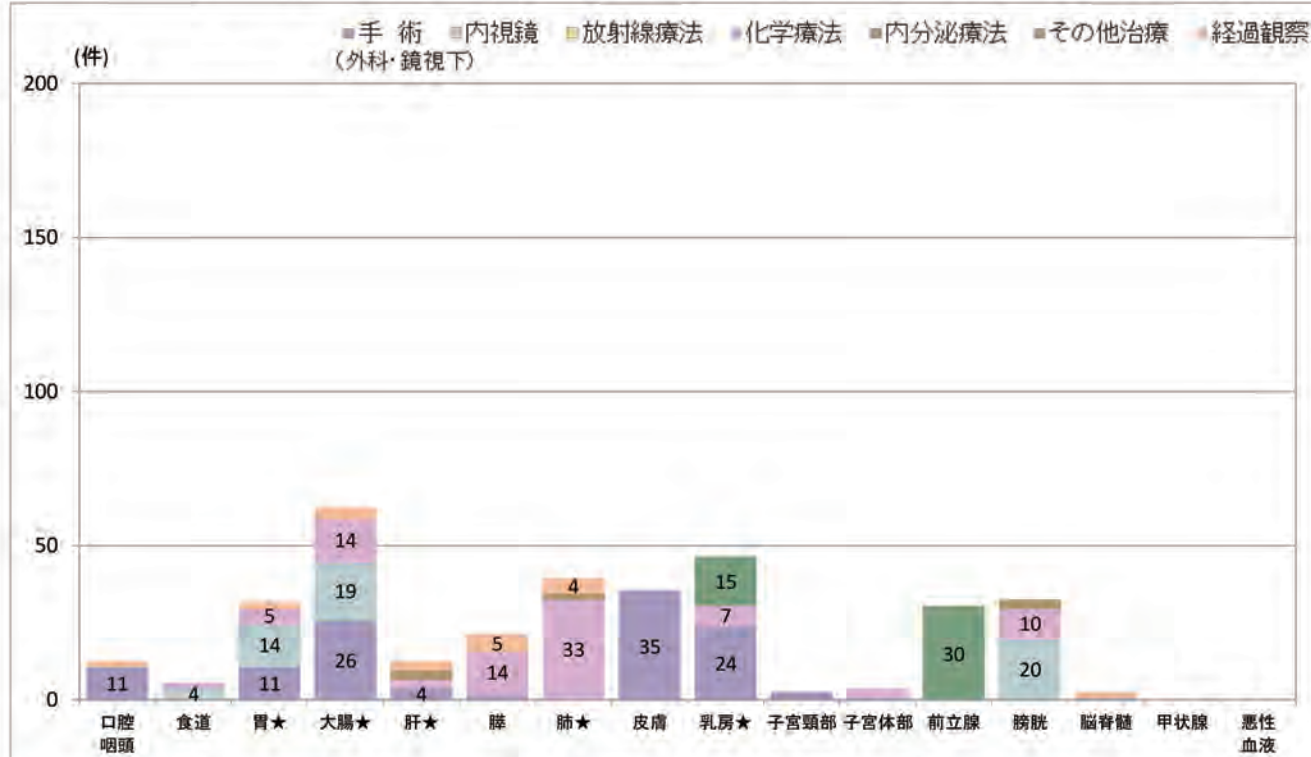
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計

※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療

※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭	11						*	12	100.0%	0.0%	0.0%
食道		4		*				5	75.0%	25.0%	0.0%
胃★	11	14		5			*	31	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	26	19		14			*	62	100.0%	0.0%	0.0%
肝★	4			*		*	*	12	100.0%	0.0%	0.0%
膵	*			14			5	21	100.0%	0.0%	0.0%
肺★				33		*	4	39			
皮膚	35							35	97.1%	2.9%	0.0%
乳房★	24			7	15			46	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	*			*				*	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺					30			30			
膀胱		20		10		*		32	70.0%	30.0%	0.0%
脳脊髄	*						*	*	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	117	57	0	89	45	7	17	332			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々集計
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と顕視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと(経過観察は含まない)

■手術 ■内視鏡 ■放射線療法
■化学療法 ■内分泌療法 ■その他治療

